

No. H20吉上-7	平成20年度 四国山地砂防事務所	論文種類	
キーワード	作業手順書 リスクアセスメント 第3者対策 熱中症対策		
論文名	寺谷堰堤工事における安全対策について	長香開発株式会社	現場代理人:大北 大

■工事概要

工事名	平成20年度 寺谷堰堤工事	概要	砂防土工 法面工 コンクリート堰堤工 砂防堰堤付属
工事場所	高知県土佐郡土佐町		物設置工 仮設工 流路護岸工 函渠工 付帯道路工
工期	平成20年6月24日～平成21年2月27日		構造物撤去工

●安全対策の目的・課題

本工事は大きく砂防土工、コンクリート堰堤工、流路護岸工、函渠工、付帯道路工を施工する工事内容であります。今回各施工工種におけるリスクアセスメント(写真1、2)及び、近年の温度上昇による夏季作業時における熱中症対策を重点課題とし取り組みました。



写真1



写真2

●安全対策の特徴・着眼点

リスクアセスメント

工事着手前に作業員全員参加による、それぞれの工種における危険性又は有害性等特定(リスクアセスメント)を検討する事で、作業員一人一人が安全への意識を高めてもらう。

熱中症対策

現場作業において、8月・9月は年々日中気温が高くなり、作業中の熱中症の危険があるため、対策を検討し朝礼等で作業員に注意を促して熱中症の危険性を認識してもらい日々の作業にあたった。



写真3



写真4

●取り組み概要

写真で見る作業手順書(写真3)を作成し、それを現場に掲示することで、朝礼等の際通常より分かりやすく作業員に作業手順を説明し、自分たちの作業手順を熟知したうえで作業に取りかかってもらった。



写真5



写真6

砂防土工における残土運搬する際、ルート上危険と思われる箇所を事前調査し、その写真付き地図を(写真4)を作成して、現場に掲示した。運転手に手渡し、説明して危険箇所の周知徹底を行った。

熱中症対策については、熱中症予報表示板(写真5、6)を現場に設置し、日々の予報最高気温と予報湿度を毎朝の朝礼等に報告してなおかつアイスメット(写真7、8)を支給して熱中症防止に努めた。

又、休憩所には飲料水、梅干し等(写真9)を備えた。



写真7



写真8



写真9